

TOSHIBA

2024年度決算

2025年5月15日

株式会社 東芝

業績ハイライト

前年同期比で増収増益 売上高、営業損益、当期純損益の全てが過去最高実績^{※1}を達成

(単位：億円)	23年度	24年度	年間実績差
売上高	32,858	35,139	+2,281
営業損益(引当金等前)	1,484	2,539	+1,055
ROS	4.5%	7.2%	+2.7%pt
引当金等 ※2	▲1,085	▲554	+531
営業損益	399	1,985	+1,586
ROS	1.2%	5.6%	+4.4%pt
営業外損益	▲602	1,798	+2,400
うち、キオクシア ※3 持分法損益	▲873	1,023	+1,896
税引前損益	▲203	3,783	+3,986
当期純損益	▲748	2,790	+3,538
EBITDA ※4	1,800	3,383	+1,583
EBITDA margin	5.5%	9.6%	+4.1%pt
FCF ※5	1,096	2,034	+938
営業CF	2,307	2,705	+398
投資CF	▲1,211	▲671	+540
期中平均為替レート(米ドル)	144円	153円	+9円

注：当社の連結財務諸表は米国会計基準に基づいております。

※1：2018年度にメモリ事業を除いた事業ポートフォリオとなって以降の決算において ※2：製品保証引当金等、PJ案件コスト精査等

※3：キオクシアホールディングス(株)の略 ※4：EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん減損 ※5：フリー・キャッシュ・フローは、制限付預金の影響を除いています。

2024年度決算についてのコメント

営業損益 前年同期比 約5倍 売価施策、固定費削減等の経営改革効果・自助努力が着実に寄与

副社長執行役員の池谷 光司は2024年度業績について以下のように述べました。

- 3Qに続き、売上高は増収、引当前後の営業損益、当期純損益の**全てが黒字、且つ前年同期実績を大幅に上回り、メモリ事業を除いた事業ポートフォリオとなって以降で過去最高の実績**となりました。
- 営業損益は、HDD他、発電システム、送変電・配電等、鉄道・産業システム等が好調に推移したほか、採算性を重視した改革推進による利益改善を進めたビルソリューションが改善し、**引当前・引当後ともに全セグメントで大幅増益を実現**しました。
- その結果、**営業損益は、前年同期実績の約5倍となる1,985億円**となりました。**売価施策、固定費削減等の経営改革・自助努力の取り組みが着実に成果に結びついている状況**です。リスク管理強化にも取り組み、引当金等の発生は前年同期比で約半分に抑制されています。
- 当期純損益は、キオクシアの業績改善による持分法損益の増益もあり、**2,790億円（前年同期比+3,538億円）と3Qに続き大幅な増益**となりました。
- 昨年5月に中期経営計画『東芝再興計画』を策定し、「筋肉質化」に取り組んだ**初年度は好調なスタート**となりました。2年目となる**2025年度は、「中長期的な成長への仕込み」のフェーズに移行**していくとともに、**更なる収益拡大を実現し、2026年度全社ROS10%の達成**に向けた取り組みを進めてまいります。

2024年度決算の補足説明

項目	概要
売上高	原子力が規模差等により減収となったものの、HDD他、公共インフラ、送変電・配電等、鉄道・産業システム、デジタルソリューション等の売上増により、前年同期比で増収（+6.9%）
営業損益	- 市況・為替影響等の外的要因のみならず、限界利益率・固定費比率の改善といった経営改革効果・自助努力が3Qに引き続き増益に寄与 - HDD他の製品保証引当金の減少と増収による増益、鉄道・産業システム、発電システム、送変電・配電等、ビルソリューション（国内エレベータ）、公共インフラなどの増益もあり、前年同期比約5倍に大幅増益（2023年度 399億円→2024年度 1,985億円） - 継続的に全社でリスク再精査を実施し、一部の案件で引当金等（▲554億円※）を計上するも、製品保証引当金の減少等により、引当金等は前年同期比で半減（531億円抑制）
当期純損益	キオクシアの業績改善による持分法損益の増益等により、黒字転換し、前年同期比で大幅増益（+3,538億円）
FCF	税金や早期退職に係る費用等の影響があったものの、EBITDAおよび運転資金の改善等により前年同期比で大幅増（+938億円）
受注高/受注残	受注高は、エネルギーシステムの大型案件受注に伴い前年同期比で増加、受注残もエネルギーシステムの大型案件、インフラシステムの受注規模の増加に伴い前年同期比で増加 受注高及び受注残ともに、現行の開示を始めた2018年度以降、最高額を記録

※：2024年度における計上額

注意事項

- この資料には、当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
- これらの記述は、過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信にもとづく見込みです。
- 当社グループはグローバル企業として市場環境等が異なる国や地域で広く事業活動を行っているため、実際の業績は、これに起因する多様なリスクや不確実性（経済動向、エレクトロニクス業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これに限りません。）により、当社の予測とは異なる可能性がありますので、ご承知おきください。
- 注記が無い限り、表記の数値は全て連結ベースの12ヶ月累計です。
- 2024年度実績は、監査完了前の5月15日時点の数値です。

TOSHIBA